

事務事業評価シート

(H.30)No.	2001	(H.29)No.	2001
-----------	------	-----------	------

事務事業名	災害一時扶助費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	生活支援室	山本明志	

会計区分	事業コード	120507
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	社会福祉総務費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	災害一時扶助費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施策	1	防災・減災
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
被災された市民に対して市として見舞い、生活再建への一助となることを期する。
事業内容
※平成30年4月1日改正 災害救助法適用外の災害により被災された市民に対し、名張市災害見舞金支給要綱に基づき、災害見舞金品又は弔慰金を支給 ①全焼・全壊・流失:50,000円/世帯、②半焼・半壊:30,000円/世帯、③死亡:100,000円/人、④2週間以上入院した負傷者:20,000円/人、⑤区の区域内で発生した災害の応急措置及び救護活動を行ったとき:30,000円以内、⑥救護物品:被災者1人当り毛布一枚

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<火災見舞金> ①全焼2件:60,000円 ②半焼1件:15,000円		<火災見舞金> ①全焼3件:150,000円 ②半焼1件:30,000円

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	同左	同左	同左

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		75千円		180千円	180千円	180千円	180千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	0	75	0	180	180	180	180
人工数	職員	0.25人		0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	1,850千円	0千円	1,850千円	1,850千円	1,850千円	1,850千円
①+②総事業費	0千円	1,925千円	0千円	2,030千円	2,030千円	2,030千円	2,030千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<記載省略> 点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)のため

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	<記載省略> 点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)のため

6. 事務事業の取組に関する市の計画
